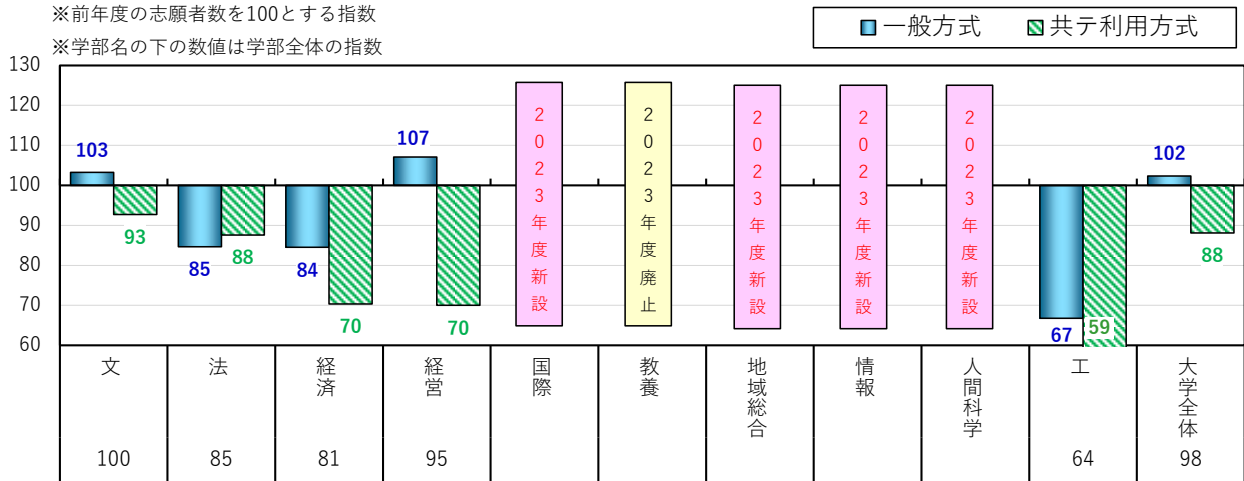


東北学院大：4 学部新設だが、大学全体では微減、特に共テ利用が減少 一般：+206 人 共テ：-88 人



主な入試変更点

キャンパス移転：文、法、経済、経営、教養…(1・2年次)泉キャンパス、(3・4年次)土樋キャンパス、五橋キャンパス  
→(1～4年度)土樋キャンパス、五橋キャンパス  
工…(1・2年次)多賀城キャンパス、(3・4年次)土樋キャンパス、五橋キャンパス  
→(1～4年次)土樋キャンパス、五橋キャンパス  
※五橋キャンパスは2023年4月新設

学部新設：国際(国際教養)…教養(言語文化)をもとに新設  
地域総合(政策デザイン、地域コミュニティ)…教養(地域構想)、経済(共生社会経済)をもとに新設  
情報(データサイエンス)…教養(情報科学)、工(情報基盤工)をもとに新設  
人間科学(心理行動科学)…教養(人間科学)をもとに新設

学部募集停止：教養  
学科募集停止：経済(共生社会経済)、工(情報基盤工)

COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前年度大幅増加の反動なく283人(98)の微減。学部別では、既存の5学部全てが減少。ただし、募集停止学科を除くと経済(109)は増加、工(96)はやや減少。方式別では、一般方式は前年度大幅増加に引き続き、206人(102)の微増。ただし、募集人員が3%増加なので、志願倍率は7.7倍→7.6倍にダウン。なお、新設4学部の志願者数合計は2,623人で、志願倍率は大学全体とほぼ同じ7.4倍。共通テスト利用方式は489人(88)の減少で3年ぶりに減少。ただし、募集人員が1%増加なので、志願倍率は14.0倍→12.2倍にダウン。なお、新設4学部の志願者数合計は1,090人で、志願倍率は大学全体とほぼ同じ12.8倍。

<一般方式>

- 文(103)は、前年度大幅増加に引き続きやや増加。学科別では、4学科中3学科が増加。(教育)(127)は2年連続減少の反動で大幅増加。(総合人文)(104)、(英文)(103)はいずれも前年度大幅増加の反動に引き続きやや増加。
- 法(85)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、2月入試の<前期>(87)は前年度激増の反動で減少だが、志願者数は900人台を維持。3月入試の<後期>(65)は大幅減少、志願者数は8年ぶりに100人を下回った。
- 経済(84)は、(共生社会経済)の募集停止により大幅減少。存続する(経済)(116)は系統への高い人気もあって、2年連続大幅増加で志願者数は1,800人を上回った。
- 経営(107)は、系統への高い人気もあって、前年度70%以上の激増の反動はなくやや増加で4年連続増加。志願者数は2年連続で1,000人を上回った。
- 新設の国際は、一般方式の募集人員合計66人に対し、志願者数は338人、志願倍率は5.1倍で、一般方式全体の志願倍率7.6倍を下回った。新設のもととなった旧教養(言語文化)との比較では、募集人員増加もあって、志願倍率は5.9倍→5.1倍にダウン。
- 新設の地域総合は、一般方式の募集人員合計132人に対し、志願者数は1,008人、志願倍率は7.6倍。新設のもととなった旧教養(地域構想)と旧経済(共生社会経済)の合計との比較では、募集人員増加もあって、志願倍率は7.8倍→7.6倍にダウン。
- 新設の情報、一般方式の募集人員合計85人に対し、志願者数は788人、志願倍率は9.3倍で、一般方式全体の志願倍率7.6倍を上回った。新設のもととなった旧教養(情報科学)と旧工(情報基盤工)の合計との比較では、募集人員減少もあって、志願倍率は9.2倍→9.3倍にアップ。
- 新設の人間科学は、一般方式の募集人員合計72人に対し、志願者数は489人、志願倍率は6.8倍で、一般方式全体の志願倍率7.6倍を下回った。新設のもととなった旧教養(人間科学)との比較では、募集人員増加もあって、志願倍率は8.7倍→6.8倍にダウン。
- 工(67)は、(情報基盤工)の廃止により大幅減少。(情報基盤工)を除く3学科合計(98)では前年度70%以上の激増の反動はなく前年度並。学科別では、(電気電子工)(105)は前年度大幅増加に引き続きやや増加で2年連続増加、(機械知能工)(102)は前年度倍増以上の反動はなく前年度並。一方で、(環境建設工)(85)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(93)は、前年度やや増加の反動でやや減少。学科別では、4学科中3学科が減少で前年度と逆の増減。(歴史)(82)、(英文)(83)

- はいずれも大幅減少、(総合人文)(94)はやや減少。一方で、(教育)(138)は2年連続減少の反動で大幅増加。
- 法(88)**は、前年度大幅増加の反動で減少。方式別では、1月出願の<共テ・前期>(90)は前年度大幅増加の反動で減少。2月出願の<共テ・後期>(66)は大幅減少で志願者数は40人を下回った。
  - 経済(70)**は、(共生社会経済)の募集停止により大幅減少。存続する(経済)(91)は前年度大幅増加の反動は小さく減少。方式別では、1月出願の<共テ・前期>(93)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。2月出願の<共テ・後期>(75)は大幅減少。
  - 経営(70)**は、大幅減少で4年ぶりに減少。方式別では、<共テ・後期>(45)は大幅減少、<共テ・前期>(73)は3年連続増加の反動で大幅減少。
  - 新設の**国際**は、共通テスト利用方式の募集人員合計16人に対し、志願者数は174人、志願倍率は10.9倍で、共通テスト利用方式全体の志願倍率12.2倍を下回った。新設のもととなった旧教養(言語文化)との比較では、募集人員増加にも拘わらず、外国語系から国際関係系への系統移行の効果もあって、志願倍率は10.5倍→10.9倍にアップ。
  - 新設の**地域総合**は、共通テスト利用方式の募集人員合計35人に対し、志願者数は381人、志願倍率は10.9倍で、共通テスト利用方式全体の志願倍率12.2倍を下回った。新設のもととなった旧教養(地域構想)と旧経済(共生社会経済)の合計との比較では、募集人員増加もあって、志願倍率は13.4倍→10.9倍にダウン。
  - 新設の**情報**は、共通テスト利用方式の募集人員合計19人に対し、志願者数は346人、志願倍率は18.2倍で、共通テスト利用方式全体の志願倍率12.2倍を上回った。新設のもととなった旧教養(情報科学)と旧工(情報基盤工)の合計との比較では、募集人員減少にも拘わらず、志願倍率は20.2倍→18.2倍にダウン。
  - 新設の**人間科学**は、共通テスト利用方式の募集人員合計15人に対し、志願者数は189人、志願倍率は12.6倍で、共通テスト利用方式全体の志願倍率12.2倍を上回った。新設のもととなった旧教養(人間科学)との比較では、募集人員増加もあって、志願倍率は14.6倍→12.6倍にダウン。
  - 工(59)**は、(情報基盤工)の廃止により大幅減少。(情報基盤工)を除く3学科合計(90)では減少。学科別では、3学科中2学科が減少。(環境建設工)(70)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(機械知能工)(96)はやや減少。一方で、(電気電子工)(107)は2年連続減少の反動でやや増加。